

月刊

書字文化

平成29年

新年号

第41号

初志貫徹

書文協八年目の春でございます。度々のご支援に感謝し、美しい日本語と伝統文化の継承発展を目標に、公共性高い活動を目指してまいります。御指導のほどお願い申し上げます。

平成二十九年正月

一般社団法人日本書字文化協会
代表理事、会長 大平 忠理
スタッフ一同

〒164-0001 東京都中野区中野 2-13-26 第一岡ビル 3階
電話 03-6304-8212 FAX 03-6304-8213
ホームページ <http://www.syobunkyo.org>

大平恵理プロフィール

用美一体の書風



昭和40年（1965年）生まれ、東京都出身、2女の母。永田光風氏らに師事、大東文化大学文学部中国文学科に進み、書写に加え書道を幅広く学んだ。早くから旧・日本書写能力検定委員会で大会、検定手本の揮毫を担う。同会の会長・理事長を務めた。2010年、日本語と伝統文化の継承発展を掲げ、一般社団法人日本書字文化協会（書文協）を設立。同協会代表理事・会長。書は「平明で用美一体を極めた書風」と評価されている。

幼児からシニアまで市販の硬筆練習帳3部作そろう

書写書道の指導法研究に力を注いでいる。特に近年は硬筆について監修・著作本を送り出しており、幼児から児童生徒、一般向けまでの練習帳3部作がそろった。正しい姿勢、鉛筆の持ち方と縦、横、斜め、グルグル巻きの線の引き方から始める園児も使える「はじめてのえんぴつれんしゅうちょう（KADOKAWA、角川書店）、小・中学生にお勧めの、ドラえもんの学習本シリーズ「きれいな字が書ける」（小学館）に次いで 近々、朝日新聞出版からペン字の練習帳が出版される。「美しい文字が書ける 書き込み式 脳活ペン字練習帳」。脳科学者とのコラボレーションで、脳の活性化にも役立つ文字書きの効果も強調した意欲作。（詳細は機関紙2月号で紹介します）

他に市販本としては『えんぴつ文字練習帳初級・中級・上級編』『硬筆文字練習帳実力養成編・応用発展編』5冊シリーズ（いずれも旧・角川学芸出版）、『えんぴつ書き練習帳』など（いずれも金園社）。

また、書文協出版部から新硬筆検定テキスト「えんぴつ・ペン文字練習帳」（15巻シリーズ）を刊行中。

検定・ライセンス試験、書写書道大会

事業として、書字能力検定、ライセンス（資格）付与試験を実施。全国書写書道大会を夏、冬に開催。書の学びの基本とされる臨書にも注目。「臨書展」を毎年度開いている。また各地での講習会に応じている。

（右は大平恵理の2013年半切作品）



29年の活動方針&スケジュール

書文協は1月9日、本部で理事会を開き平成29年の活動方針を決めました。不特定多数の公益を目指す公共的理念に基づき、大まかなスケジュールなども決めました。(価格はいずれも消費税別。日程は変更される場合があります。直前のホームページをご参照いただくか書文協本部にお問い合わせください)

テキスト発行

既刊

☆えんぴつ・ペン文字練習帳

・・・硬筆新検定テキスト(書文協出版部)

15巻シリーズのうち6巻(小学6年生標準)まで刊行済み。行書が加わる7巻(中学1年生標準)以降の刊行がストップし、ご迷惑をおかけしていましたが、下記の予定で刊行します。

☆はじめてのえんぴつれんしゅうちょう

・・・園児向け新硬筆検定テキスト(KADIKAWA 角川書店)

価格900円、教場・教室の教材として使われる場合は書文協にご連絡ください。教材価格で頒布します。

☆ドラえものの面白国語攻略きれいな字が書ける

・・・小学生向き書き方参考書(小学館)

価格850円、教場・教室の教材として使われる場合は書文協にご連絡ください。教材価格で頒布します。

☆毛筆・硬筆の各検定テキスト

・・・半紙検定、本検定など毛筆、硬筆楷書・業者各検定など(書文協出版部)

これらの各検定テキストは書文協から発送します。価格については書文協本部にお問い合わせください。



☆えんぴつ・ペン文字練習帳続巻（書文協出版部）

- 7巻（中1標準）・・・平成29年3月末
 - 8巻（中2標準）・・・8月末
 - 9巻（中3標準）・・・12月末
 - 10—12巻（高校1—3年標準）・・・平成30年3月末
 - 13—15巻（大学・一般）・・・8月末
- 各巻 B5判 64ページ 吉見出版扱い 1冊 570円（消費税別）
書文協会員は10%引き

☆ペン文字練習帳（仮題、出版社刊）

大平恵理監修・揮毫によるペン字書きを想定した主に成人向け学習本を近く朝日新聞出版から発行予定。

☆音読・暗唱教材集

・・・2020年大学入試改革に対応、言葉の力を養う（書文協出版部）
書文協専修学院の書写書道授業でも約5分間の音読暗唱を行います。現在1枚紙により試行中ですが、平成29年1月下旬に冊子にまとめた音読暗唱教材集N○1を発行します。10課題（1課題を4週で覚える）構成でA4判24ページ。各教場にも1冊162円で頒布します。

書道具開発

☆書道具は吉見出版を通して発売

テキストの一部、筆、墨液、下敷きなどの書道具は表彰式用具・学習教材・記念品などの販売大手「吉見出版株式会社」で書文協ブラド（書文協開発・推奨品）として発売しています。同社は大量仕入れによる安価販売を目指していますが、書文協会員はさらに10%割引されます。ネットショップが便利です。

☆硬筆道具セット新発売

鉛筆や消しゴムなど日常品すぎて家の中に散らばり易いのが硬筆用具。削り器や硬筆用下敷き等書文協が推奨する諸用具のほかに、硬筆練習専用ノート、音読暗唱教材集（上記参照）などをセットにした道具箱を作りました。1式約2,500円。名入れもできます（別価格）。



検定・ライセンス

☆全国書字検定試験・・・各偶数月

2, 4, 6, 8, 10, 12月の実施となります。

提出 当月の20日まで

審査結果通知 翌月25日に各教場・個人宛に発送

検定作品は5段階評価され、その累計点に応じて段・級が付与されます(初段ほか実技試験合格が必要な段があります)。

☆指導者資格(ライセンス)試験・・・5、11月、自己申告制

検定の累計点が一定段階に達すると申請によって付与されます(一部の段級で実技試験があります)。ライセンス認定は5月、11月の年2回、実施します。申請は検定の進みを自分で把握して行う自己申告制です。日ごろの検定結果に関心を持って学びを進めてください。

☆えんぴつ指導者ライセンス取得講習会・・・文字指導者に最適

小・中学校の基本的筆記具は鉛筆です。本指導者ライセンス(資格)はこのライセンス保持者が、えんぴつの正しい持ち方、筆圧のかけ方などがちゃんとできることを書文協が保証するものです。教場や園・学校での文字指導の担当者、学習会などサークル指導者にはぜひ持ってほしいライセンスです。

日本語の6, 7割は「ひらがな」だと言われます。特に幼児期の子どもたちにとって、正しい鉛筆の持ち方とひらがなの習得は、生涯にわたる学習のスタートとも言えます。

検定とは切り離されたライセンスです。1日6時間の講習を受け、修了試験に合格すれば、えんぴつ指導者ライセンスが付与されます。

受講資格は小学5年生以上。(写真は平成28年12月10日に書文協本部教室で開かれた同講習会)。



講習会費、講習会予定

小・中学生 5,000円

高校生以上 10,000円

資料代約 1,500円

スケジュール(未定)

書文協営業時間など

書文協受け付け時間は月曜日から金曜日の10:00～17:00と致します。それ以外の時間帯は留守番電話でお受けする機会が多くなることをご了承ください。

なお、長期休暇は12月30日～1月2日、5月3日～7日です。夏は決まり次第お知らせいたします。

出張講習会

それぞれの会員教場の希望に応じて、本部から講師がお伺いして生徒の指導を手伝います。講習内容は硬筆あるいは毛筆、検定・ライセンス対応、大会課題練習（評価の観点指導）など各教場の希望に応じます。原則として長期休暇期以外は日曜日1日間に限ります。

日程の都合により希望をお受けできない場合があります。

(写真は12/18宇都宮講習会)

1コマ(2時間) 当たり受講料

中学生以下	2,300円
高校・大学生	3,000円
一般	3,500円



全国書写書道大会

☆第5回伝統文化大会

◇28年度年賀はがきコンクール

◇同学生書き初め展覧会)

応募締め切り 1月20日表彰式 3月5日東日本橋・中央区立産業館

☆第6回総合大会

◇29年度ひらがな・かきかたコンクール

応募締め切り 29年7月28日(金)

◇同学生書写書道展 ◇同全国硬筆コンクール)

応募締め切り

学生展・公募、全国硬筆コンクール 9月15日(金)

学生展・席書

7月22日(土)～9月3日(日)

作品展示・交流会 29年10月29日(日) 浅草公会堂(予定)

☆第3回臨書展

29年度の大会として第3回臨書展は30年3月に実施予定。実施要項は29年10月に発表予定。

きのう

今日

あす

渡邊 啓子（書文協副会長）

通販怖い



買い物をする時間を取れなかったり、遠隔地のものを購入したい時に通販を利用することがあります。先日、作り方にかなりこだわりを持つお店を見つけました。ケーキの通販なのですが、これがまた買うには大変な努力がいるのです。

地産地消をうたい、材料にこだわります。そして出来た量から販売日や販売数が決定されるのです。

お店での販売があるので、通販で出るのは一日数個限定。しかし、遠方にあるお店まで足を運べない以上、購入手段はやはり通販しかありません。知っている人は知っているもので、同じ状態の人が多く、もちろん常に予約がいっぱい。「次の更新は〇月〇日〇時頃」という表示をもとに、その時を待ちます。

その時が近づくと端末を忙しく操作して頻繁に確認します。「あっ、更新された」と分かった時から5分が勝負です。数を入れて手続きして「決定」まで一気に進めます。この間もロスがあるとすぐ先を越されて埋ってしまい、何度も購入を逃しました。

数週間かけて購入予約がとれました。しかし、実際に手元に届くのは1ヶ月半先のこと。まだまだ先は長い。最初に贈ろうと思った方、次の誕生日の方には、それぞれ日にちが間に合わず断念することになってしまいました。それでも、不思議なことに機会は巡るもので、到着日がピッタリ誕生日の方が！！喜んでいただけたと自己満足しています。ちなみにその後は予約が取れず、ケーキに使う栗の実が終わり、今季分が終了となりました。

膨大な情報が飛び交うネット社会。時間をかけて探すことも多々あります。けっしてヒマではないのですが通販の便利さには勝てません。人に贈るものならなおさらです。たかがケーキ、されど通販のお話でした。

教

学

半

教えるは学の半ばなり（書経から）

池田 圭子（書文協教学参与）

継続の秘訣「こつこつ続ける」



新しい年を迎えました。本年もどうぞよろしく
お願いいたします。

昨年、長く書写書道に取り組んできた長女の大学受験でA0入試を経験し、続けることの大切さ、その高い評価を再認識いたしました。

年頭に、継続する力の大切さを皆さんと考えたいと思います。

私は、北山幼稚園（東京都府中市）で、年中児の正課授業で毛筆指導、中野の書文協本部では幼稚園児からシニアの方までを指導しています。それで感じるのですが、小学高学年や中高生になると、どうしてもその時その時に目の前にあるものに必死になります。受験勉強や、部活ですね。

もちろん、それは大切なことですが、そんな時でも心の片隅に「自分には勉強以外にもこれがある」というものがあると、大きな自信につながります。それが私たちの場合、書写書道だと思います。

では、書写書道をいつも必死でやらなくてはいけないかということ、そんなことはありません。かえって慢性的にストレスが続くことで意欲をなくしてしまう燃え尽き症候群になってしまっはけません。そんな不幸な人達を大勢みてきました。ただ、自分が上達していると思う時、伸びている時は機を逃さずに努力をした方が良いでしょう。

今は勉強するときだ、今は部活を頑張りたい、今は家事に専念したい。という時が必ず誰にもあります。そういった時は、書写書道は忘れない程度に続けられるとよいです。そして、こつこつと続けていくことで必ず実を結ぶ時が来るでしょう。

新しい年が皆様にとって実り多い年となることをお祈りしております。